

OMRON

CK3E シリーズ プログラマブル多軸モーションコントローラ

安全上のご注意

このたびは当社の CK3E シリーズコントローラをお買い求めいただきまして誠にありがとうございました。
安全にご使用いただくために、本紙とユニットの参照マニュアルを必ずお読みください。
参照マニュアルは、当社の最寄りの営業所に連絡し、最新のものをご利用ください。
また本紙と参照マニュアルは、大切に保管していただくとともに、最終ユーザ様までお届けくださいますようお願いいたします。

© OMRON Corporation 2016-2020 All Rights Reserved. 3102733-5D

商標

- EtherCAT® は、ドイツ Beckhoff Automation GmbH によりライセンスされた特許取得済み技術であり登録商標です。
- ODVA, CIP, CompoNet, DeviceNet, EtherNet/IP は ODVA の商標です。
- その他、本紙に掲載しているシステム名および製品名は、それぞれ各社の商標または、登録商標です。

安全上の注意

■ 警告／注意表示の意味

 警告	正しい取扱をしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至る恐れがあります。また、同様に重大な物的損害をもたらす恐れがあります。
 注意	正しい取扱をしなければ、この危険のために、時に軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害を受ける恐れがあります。

■ 警告表示

 警告	本製品を分解しないでください。特に通電中や通電 OFF 後直は、本製品内部には昇圧による電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。また、内部の鋭利な部品で怪我をする可能性があります。
 注意	製品の故障や外部要因による異常が発生した場合も、システム全体が安全側に働くように、外部で安全対策を施してください。異常動作により、重大な事故につながる恐れがあります。
 注意	非常停止回路、インターロック回路、リミット回路など、安全保護に関する回路は、必ず外部の制御回路で構成してください。

作成したユーザプログラム、サーボアルゴリズムおよび各種データ・設定値は、十分な動作確認を行った後、本運転に移行してください。

製品は、以下のときに、出力ユニットの全出力を OFF にし、スレーブはスレーブ側の動作に従います。

- ・電源部異常が発生したとき
- ・電源接続不良が発生したとき
- ・CPU 異常（ウォッチャドグタイム異常）または CPU リセットが発生したとき
- ・全停止オールトレベルのコントローラ異常が発生したとき
- ・電源投入から運転モードに移行するまでの起動中
- ・システム初期化異常が発生したとき

これらのとき、システムが安全側に動作するよう、外部で対策を施してください。

製品内部のデータの異常時は、意図しない動作をすることがあります。このとき、システムが安全側に動作するよう、外部で対策を施してください。

UPS を使用すると瞬時停電発生時でも一定の時間は正常動作を続けるため、瞬時停電により影響を受けた外部機器から誤った信号を受け付けてしまう可能性があります。外部にてフェールセーフ対策を行い、かつ必要によっては外部機器側の電源電圧自体を監視し、インターロック条件として取り込むなどの対策を行ってください。

信号線の断線、瞬時停電による異常信号などに備えて、ご使用者側でフェールセーフ対策を施してください。

POWER PMAC IDE からユーザプログラム、「構成／設定」のデータを転送するときは、転送先の安全を確認してください。転送中の動作を監視し、インターロック条件として取り込むなどの対策を行ってください。

製品の動作モードにかかわらず、装置や機械が想定外の動作をする恐れがあります。

試運転を開始する際には、動作パラメータが正しいことを確認してから試運転動作を開始してください。

ユーザプログラムを転送すると、製品にリストアが発生し、EtherCAT スレーブとの通信が途絶えます。その間のスレーブ出力は、スレーブの仕様に従います。EtherCAT ネットワーク構成により、通信が途絶える時間が異なります。ユーザプログラム転送時は装置に影響を与えないことを確認してから行ってください。

安全にお使いいただくために、位置リミット、速度リミット、加速度リミット、ジャーカリミット、電流リミット、位置偏差リミット、エンコーダ消失検出を適切に設定してください。

垂直方向に動作する装置では、サーボ制御を停止したときの装置の落下を防ぐため、モータブレーキを使用してください。

△ 注意

モータを安全に正しく制御するために、制御理論および本製品の仕様を理解した技術者が、サーボアルゴリズムの設計やゲイン設定を行ってください。

試運転を行う際には、フェールセーフ対策を実施すると共に、安全を確保できるよう十分に低い速度でモータを動作させてください。

C 言語を使用したプロジェクトをダウンロードするときは、再初期化コマンド (\$\$ \$***) を実施後、ダウンロードをしてください。

動作確認済みのプログラムを異なる製品にダウンロードする際には、設定が異なる可能性があるため、ダウンロードされた製品で再度動作確認を実施してください。

安全上の要点

■ 分解・落下／装着時／配線時

- 本製品を、分解して修理や改造はしないでください。故障や発火のおそれがあります。
- 製品を落させたり、異常な振動・衝撃を与えたりしないでください。製品の故障、焼損の可能性があります。
- 据え付け工事の際には、必ず D 種接地（第3種接地）をしてください。
- 端子台、コネクタの配線及び接続は参照マニュアルにしたがって正しく行ってください。配線の順番、コネクタの向きを十分確認してから通電してください。
- ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。ケーブルのコード部に重いものを載せないでください。断線するおそれがあります。
- コネクタなどロック機構のあるものは、必ずロックしていることを確認してからご使用ください。
- パソコンと製品を接続する際には、パソコンの電源プラグを AC コンセントから抜いておいてください。また、パソコンに FG 端子がある場合は、パソコンの機能接地端子と同電位になりますように接続してください。
- パソコンとコントローラとの間に電位差が発生し、故障や誤動作の原因になる可能性があります。
- スレーブで極性のある外部電源に逆電圧を加えないでください。コントローラの動作に関係なく逆電流が流れ、接続された機器を壊すおそれがあります。
- ユニット内に配線くずや切片などが入らないようにしてください。焼損、故障、誤動作の原因となります。特に接続時は、覆いを付けるなどの対策を行ってください。

■ 電源設計時／電源投入時／電源 OFF 時／本運転時

- 電源投入時には突入電流が発生します。外部回路のヒューズやブレーカを選定される際は、溶断・検知特性や上記内容をご考慮の上、余裕を持つ設計を行ってください。突入電流仕様については参照マニュアルを参照してください。
- 電圧低下や燃損を防ぐために、十分な大きさの電源の電線を使用してください。電源の配線は、電線の電流容量に注意して行ってください。発熱の可能性があります。端子から端子へ渡り線で配線すると、それぞれの電線には計算された電流が流れます。渡り線で配線するときは、すべての電線の電流容量に注意してください。
- システム内で使用する電源は、参照マニュアルに記載されている電源の定格範囲で使用してください。
- 電源投入から運転モードに移行するまで、数十秒程度時間がかかります。この間は出力が OFF またはスレーブやユニットの設定仕様に従った値となり、外部との通信もできません。外部機器が誤動作しないようにフェールセーフ回路を組んでください。
- 製品が USB メモリアクセス中に電源を OFF したり、USB メモリを抜いたりしないでください。データが壊れる可能性があり、そのデータを用いた場合に正しく動作しません。
- 内蔵フラッシュメモリに書き込み処理を行っているときに、電源を OFF しないでください。データが破壊され、誤動作のおそれがあります。
- ツールから各種データ、ユーザプログラムを転送中はケーブルを抜いたり、製品の電源を OFF したりしないでください。データの転送が完了できず誤動作のおそれがあります。
- 次のことを行うときは、電源を OFF してください。
 - ・ケーブルを接続、配線するとき
 - ・コネクタを取り付けたり、取り外したりするとき

■ 操作時

● 次の操作は設備に影響がないかを確認したうえで行ってください。

- ・製品の動作モードの変更（電源投入時の動作モード設定を含む）
- ・ユーザプログラム、設定の変更
- ・設定値／現在値の変更

■ EtherCAT 通信

- EtherCAT は通信距離および接続台数／接続方法を仕様の範囲内でご使用ください。また、EtherNet/IP や一般的な構内 LAN など他のネットワークに接続しないでください。過負荷によるネットワークのダウンや誤動作の可能性があります。
- 汎用 Ethernet ハブ、リピータハブは使用しないでください。使用した場合、全停止オールトレベルなどの異常が発生するおそれがあります。
- EtherCAT、Ethernet の接続方法や使用するケーブルは参照マニュアルの記載のとおりにしてください。通信不良になるおそれがあります。
- 「縮退運動設定」を「停止する」と設定している場合、EtherCAT 通信異常がいずれかのスレーブで発生すれば、全スレーブとプロセスデータ通信を停止します。そのため、サポートドライバを接続している場合は、全軸サポート OFF となります。このときのサポートドライバの動作は、サポートドライバの仕様に従います。「縮退運動設定」については、装置の異常発生時に安全な挙動をとるように十分考慮してください。
- ノイズが発生したときや、EtherCAT スレーブからネットワークケーブルを抜いたときに、通信中のフレームが消失することがあります。フレームが消失すると、スレーブの出入力データが伝わらなくなり、意図しない動作をするおそれがあります。スレーブの出力はスレーブの仕様に従います。詳細は、各スレーブのマニュアルを参照してください。
- 電源投入直後、EtherCAT 通信が確立していない場合があります。システム定義変数、および EtherCAT カブリュニットのデバイス変数を用いて、I/O データ通信が確立したことを探してから、制御に使用するようにプログラミングしてください。
- EtherCAT スレーブを抜く場合は、後続する EtherCAT スレーブも含めて EtherCAT 状態を Init 状態にした後で抜いてください。
- EtherCAT マスク機能モジュールの異常を解除する場合は、復旧対象のすべてのスレーブが加入状態であることを事前に確認してください。加入していないスレーブがあると、EtherCAT マスク機能モジュールが、指定と異なるノードアドレスのスレーブにアクセスしたり、正しく異常解除されなかつたりする可能性があります。
- EtherCAT タイプのサポートドライバに指令値を送信してから本製品にフィードバック値が受信されるまでにタイムラグがあります。このタイムラグを考慮してサポート制御を行ってください。

使用上の注意

■ 装着時／配線時

- 次のような環境に設置や保管をしないでください。焼損、運転停止、誤動作の可能性があります。
 - ・日光が直接当たる場所
 - ・周囲温度や相対湿度が仕様値の範囲を超える場所
 - ・温度変化が急激で結露するような場所
 - ・腐食性ガス、可燃性ガスのある場所
 - ・ちり、ほこり、塩分、鉄粉が多い場所
 - ・水、油、薬品などの飛沫（ひまつ）がかかる場所
 - ・製品に直接振動や衝撃が伝わる場所
- 次のような場所で使用する際は、遮蔽対策を十分に行ってください。
 - ・強い高周波ノイズを発生する機器の近く
 - ・静電気などによるノイズが発生する場所
 - ・強い電界や磁界が生じる場所
 - ・放射線を被曝するおそれのある場所
 - ・電源線や動力線が近くを通る場所
- 接地された金属に触るなどして人体の静電気を放電させてから、ユニットに触れてください。
- 発熱体の近傍への設置を避け、通風の確保などをして、正しく設置してください。誤動作、運転停止、焼損の可能性があります。
- 製品は定格電源電圧で使用してください。

■ タスク設定

- タスク周期オーバーが発生した場合、タスクの周期内に収まるようユーチャンクを作成するか、またはタスクの周期を設定してください。

■ EtherCAT 通信

- コントローラとサポートドライバ間の EtherCAT 通信に異常が起った場合に、動作を停止するようにサポートドライバを設定してください。
- 必ず指定されている EtherCAT スレーブケーブルを使用してください。指定外のケーブルを使用した場合、EtherCAT マスクまたは EtherCAT スレーブが異常を検出し、以下の現象が発生する可能性があります。
 - ・プロセスデータ通信のリフレッシュが、継続的に実行されない。
 - ・プロセスデータ通信のリフレッシュが、設定周期内に完了しない。

■ 運転時

- システムが動作中に通信ケーブルを外さないでください。システムが故障や誤動作の原因になります。
- 試運転中にモーション設定のダウンロードは行わないでください。

■ USB デバイス

- USB 標準に準拠した USB デバイスを使用してください。

参考マニュアル

その他の関連マニュアルについては以下をご参照ください。

形式 / マニュアル名称	Man. No.
形 CK3E-□□□□	CK3E シリーズ プログラマブル多軸モーションコントローラ ユーザーズマニュアル ハードウェア編

ご承諾事項

当社商品は、一般工業製品向けの汎用品として設計・製造されています。従いまして、次に掲げる用途での使用を意図しておられます。お客様が当社商品をこれらの用途に使用される際には、当社は当社商品に対して一切保証をいたしません。ただし、次に掲げる用途であっても当社の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合は除きます。

- 高い安全性が必要とされる用途（例：原子力制御設備、燃焼設備、航空・宇宙設備、鉄道設備、昇降設備、娯楽設備、医療機器、安全装置、その他生命・身体に危険が及ぶる用途）
- 高い信頼性が必要な用途（例：ガス・水道・電気等の供給システム、24 時間連続運転システム、決済システムほか権利・財産を取扱う用途など）
- 厳しい条件または環境での用途（例：屋外に設置する設備、化学的汚染を被る設備、電磁的妨害を被る設備、振動・衝撃を受ける設備など）
- カタログ等に記載のない条件や環境での用途

- （a）から (d) に記載されている他、本カタログ等記載の商品は自動車（二輪車含む、以下同じ）向けではありません。自動車に搭載する用途には利用しないで下さい。自動車搭載用商品については当社営業担当者にご相談ください。
- 上記は適合用途の条件の一部です。当社のベスト、総合カタログ、データシート等最新版のカタログ、マニュアルに記載の保証・免責事項の内容をよく読んでご使用ください。

オムロン株式会社
インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

● 製品に関するお問い合わせ先
お客様相談室
電話 055-982-5015 (通話料がかかる場合)
■ 営業時間：8:00～21:00 ■ 営業日：365日

● FAXやWebページでもお問い合わせいただけます。
FAX 055-982-5051 / www.fa.omron.co.jp

● その他のお問い合わせ
納期・価格・サンプル・仕様書は貴社のお取引先、または貴社担当オムロン販売員にご相談ください。
オムロン制御機器販売店やオムロン販売拠点は、Webページでご案内しています。

お問い合わせください。